

家庭での 対応の ポイント

対応に迷う時は、 まず子供の行動をよく観察しましょう

いつ、どのような場面で、「困った行動」が現れるのか、できるだけ多くの情報を集めることが大切です。

原因がわからないまま焦って強引なやり方をしても、問題は解決せず、親子関係が悪化しやすくなります。



「困った行動」が続く時は、 対応の仕方を変えてみましょう。

「困った行動」が続く場合、保護者が子供の状態に合わない対応を繰り返していることがあります。

「困った行動」にあえて注目しないようにするのも一つの方法です。



子供との肯定的な コミュニケーションを心がけましょう。

子供自身もどうしてよいか分からずいらしたり、落ち込んだりすることがあります。そういう時こそ、子供の長所や得意なところを認めてあげましょう。子供の感情を理解し、受け止めることで「困った行動」が減少することがあります。

保護者が自分自身を 責め過ぎないようにしましょう。

これまで自分が頑張ってきたことを振り返り、その努力をきちんと自己認識しましょう。自分自身を肯定することは保護者のセルフケアに役立つだけでなく、子供にとっても良いモデルとなります。



大切なことは、
子供が安心して、
ほかの人とつながりを
感じられるように
なることです。

信頼できる誰かに相談してみましょう。

子育てに悩んだ時、親として情けなく思ったり、恥ずかしいと感じてしまうことがあります。このような気持ちが続くと、問題を一人で抱え込んでしまい、ますます自分を追い詰めて解決から遠ざかります。そういう場合、信頼できる人や学校の先生に話してみましょう。自分一人では気付かなかった視点や対応に気付くことがあります。



一人で 悩まずに 相談 しましょう

子供の様子が気になる時は、 すぐに学校へ相談してください。

学級担任の先生に限らず、保健室の先生（養護教諭）、教育相談担当の先生、特別支援教育コーディネーターの先生、学年主任、校長先生など、保護者が相談しやすい先生なら誰でもかまいません。来校しているスクールカウンセラー相談員の利用もできます。



学校以外に相談できる機関を教えてください。

Q 身近に子供の健康状態について相談できる場所はありますか？

A 保健センター・保健所があります。
保健師が気軽に相談にのる“地域の健康相談”があります。
広報誌に毎月、開催日と時間、場所が載っています。子育て相談ができる日もあります。

Q 子供の発達や子育てなどについて相談したいのですが？

A 地域の教育研究所・発達障害者支援センター、家庭児童相談室、児童相談所で面接相談ができます。電話で相談ができる場所もあります。

Q 病院に行く場合、何科で受診するとよいのでしょうか？

A すぐに精神科や心療内科を受診することに抵抗がある場合、まず学校医やかかりつけの小児科、内科の先生に相談して、必要に応じて紹介を受けるという方法もあります。
子供の発達や精神的問題を専門とする児童精神科を開設している病院もあります。

保護者のみなさん自身の心のケアが大切です

子供との接し方に自信がないと悩んでいませんか？

そんな時には、地域で土曜日に開かれる親子で参加できる催しに参加してみましょう。指導員やレクリエーションを指導する先生が、子供と楽しくふれ合えるよう指導しています。また、児童館での企画への参加もいいですね。広報誌や地域のお知らせ（回覧版など）で紹介されています。



子供が安心してゆったりと過ごせる家庭生活には、保護者自身の気持ちが安定していることが大切です。

子供の様子を心配するあまり不安になり過ぎたり、気持ちが沈む“うつ状態”になってしまうことがあります。また、家庭や職場で心配事があると一人で対処することが難しく、ストレスとなりがちです。

そのような場合には、地域の精神保健センターや保健所の電話相談、面接相談を利用しましょう。病院・診療所（精神神経科、診療内科など）に行く前に、気軽に相談することができます。広報誌に健康相談、心の相談などの実施場所や日時を掲載しています。精神保健相談は、精神科医、保健師、心理士、精神福祉士など専門家が相談を担当しています。秘密は厳守されますので、安心してご相談ください。

発行：文部科学省（平成27年2月）

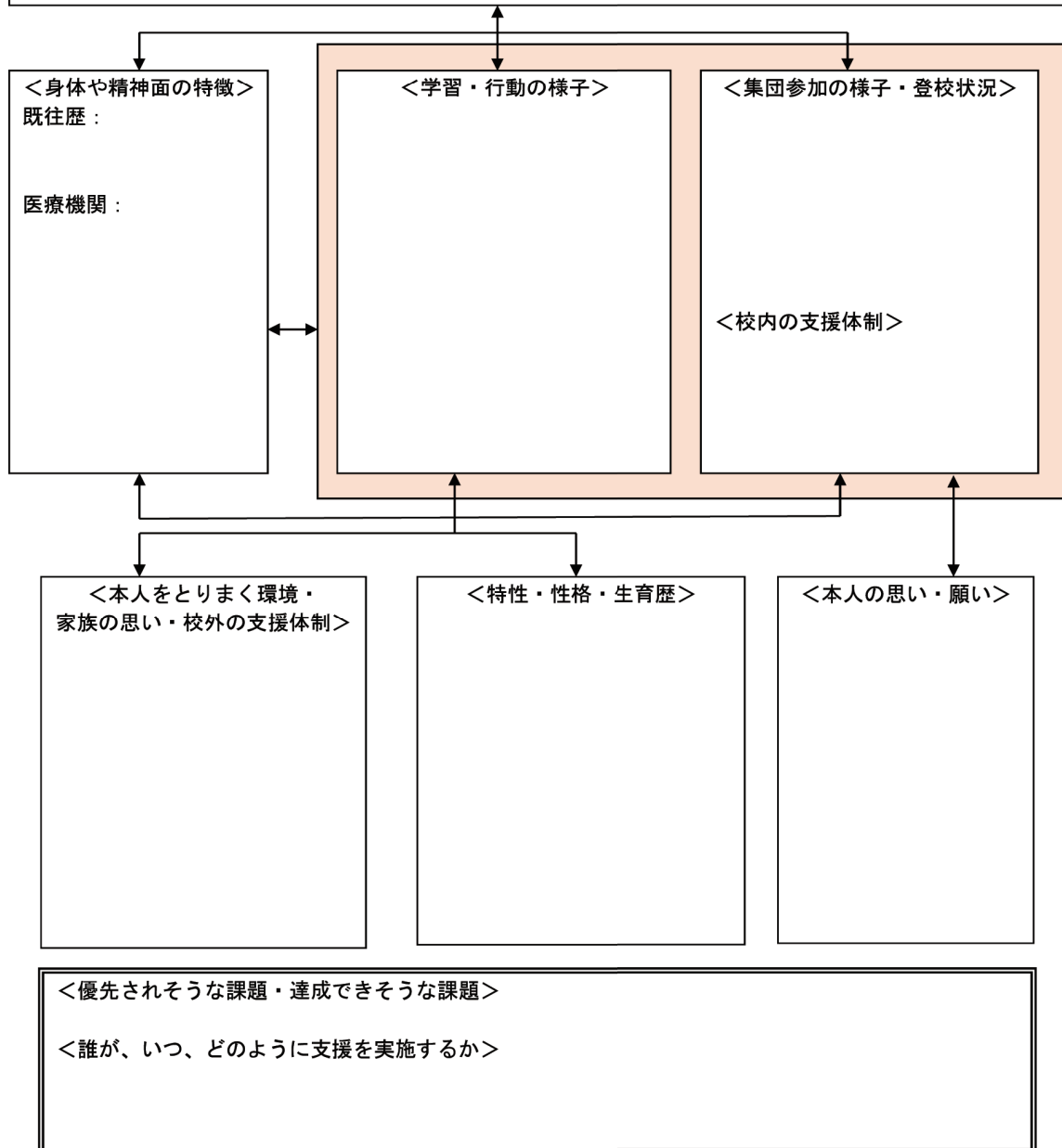
[主な心身の課題把握事項]

主な心身の課題把握事項

記入日 平成 年 月 日

学年・組	年 組	担当者氏名	
児童生徒 氏名			

主な課題（本人が抱える問題）



(別添1)

取扱注意

児童生徒理解・教育支援シート (試案)

(小)

(中)

(高)

児童生徒名

分類番号

児童生徒理解・教育支援シート(共通シート)

作成日:平成〇年〇月〇日

作成者 HO(記入者名) 追記者 HO(記入者名)/HO(記入者名)/...

名前(よみがな)	性別	生年月日

○学年別欠席日数等	追記日→	○/○													
年度															
学年	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3	高1	高2	高3	高4		
出席しなければならない日数															
出席日数															
別室登校															
遅刻															
早退															
欠席日数															
指導要録上の出席扱い															
①教育支援センター															
②教育委員会所管の機関(①除く。)															
③児童相談所・福祉事務所															
④保健所、精神保健福祉センター															
⑤病院、診療所															
⑥民間団体、民間施設															
⑦その他の機関等															
⑧IT等の活用															

○支援を継続する上での基本的な情報

特記事項(本人の強み、アセスメントの情報等)

○家族関係

特記事項(生育歴、本人を取り巻く状況(家族の状況も含む。)、作成日以降の変化等)

備考欄